



## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社アスコット 上場取引所 東  
 コード番号 3264 URL <https://www.ascotcorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱崎 拓実  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部マネジャー (氏名) 須貝 尚子 TEL 03-6721-0245  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,710	142.5	281	—	168	—	135	—
2019年9月期第1四半期	1,529	△22.7	△122	—	△262	—	△274	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 135百万円 (—%) 2019年9月期第1四半期 △274百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	2.30	—
2019年9月期第1四半期	△4.66	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	27,564	11,754	42.6
2019年9月期	27,879	11,619	41.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 11,729百万円 2019年9月期 11,593百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,962	△14.5	858	△14.2	366	△27.2	302	△22.4	5.12

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	58,948,922株	2019年9月期	58,948,922株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	－株	2019年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	58,948,922株	2019年9月期1Q	58,948,922株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,710百万円(前年同期比:2,180百万円増)、営業利益281百万円(前年同期:営業損失122百万円)、経常利益168百万円(前年同期:経常損失262百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益135百万円(前年同期:親会社株主に帰属する四半期純損失274百万円)となりました。

セグメントの経営成績の概要は、以下のとおりであります。なお、各セグメントの売上高の金額は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めない数値を記載しております。

#### (不動産開発事業)

当第1四半期連結累計期間における不動産開発事業の売上高は2,574百万円(前年同期比:1,649百万円増)、営業利益は211百万円(前年同期:営業損失62百万円)となりました。

当社グループの不動産開発事業は、分譲マンション開発及び賃貸マンション開発並びにオフィス開発に分かれており、その売上高及び営業損益は次のとおりであります。

##### 分譲マンション開発

当第1四半期連結累計期間の売上高は220百万円(前年同期比:122百万円減)、営業損失は57百万円(前年同期:営業損失34百万円)となりました。

前年同期は前期からの繰越物件である共同事業物件の一部を含む3物件を売却いたしました。当第1四半期連結累計期間においては、分譲マンション1物件の一部及び戸建て1戸を売却いたしました。

##### 賃貸マンション開発

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,351百万円(前年同期比:1,768百万円増)、営業利益は305百万円(前年同期比:285百万円増)となりました。

前年同期は2物件を売却いたしました。当第1四半期連結累計期間においては、7物件を売却いたしました。

##### オフィス開発

当第1四半期連結累計期間の売上高は3百万円(前年同期:売上高なし)、営業損失は36百万円(前年同期:営業損失47百万円)となりました。

オフィス物件の売却はありませんでしたが、開発物件において賃料収入を得ております。

#### (不動産ソリューション事業)

当第1四半期連結累計期間における不動産ソリューション事業の売上高は1,111百万円(前年同期比:527百万円増)、営業利益は158百万円(前年同期比:104百万円増)となりました。当社グループの不動産ソリューション事業は、バリューアップ事業並びに不動産コンサルティング、不動産仲介等に分かれており、その売上高及び営業損益は次のとおりであります。

##### バリューアップ

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,111百万円(前年同期比:1,030百万円増)、営業利益は170百万円(前年同期比:141百万円増)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては1物件を売却いたしました。

##### 不動産コンサルティング、不動産仲介、その他

当第1四半期連結累計期間の売上高はなし(前年同期:売上高503百万円)、営業損失は11百万円(前年同期:営業利益24百万円)となりました。

#### (その他事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は24百万円(前年同期比:3百万円増)、営業利益は1百万円(前年同期:営業損失1百万円)となりました。

主に、不動産賃貸収入や不動産賃貸管理業務等の手数料収入を得ております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は27,564百万円(前連結会計年度末:27,879百万円)となり、前連結会計年度末と比較して315百万円の減少となりました。

流動資産は25,458百万円(前連結会計年度末:25,734百万円)となり、前連結会計年度末と比較して275百万円の減少となりました。主な要因として、現金及び預金が499百万円、仕掛販売用不動産が1,395百万円それぞれ増加した一方で物件売却により販売用不動産が2,153百万円減少したこと等によります。

固定資産は2,092百万円(前連結会計年度末:2,122百万円)となり、前連結会計年度末と比較して29百万円の減少となりました。主な要因として、有形固定資産、無形固定資産の減価償却及びのれんを償却したこと等によります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は15,809百万円(前連結会計年度末:16,260百万円)となり、前連結会計年度末と比較して451百万円の減少となりました。

流動負債は10,046百万円(前連結会計年度末:9,540百万円)となり、前連結会計年度末と比較して506百万円の増加となりました。主な要因として、1年内返済予定の長期借入金が163百万円減少したものの、短期借入金が710百万円増加したこと等によります。

固定負債は5,762百万円(前連結会計年度末:6,719百万円)となり、前連結会計年度末と比較して957百万円の減少となりました。主な要因として、長期借入金が944百万円減少したこと等によります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は11,754百万円(前連結会計年度末:11,619百万円)となり、前連結会計年度末と比較して135百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が135百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2019年10月31日発表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,858	5,358
売掛金	4	3
販売用不動産	6,543	4,389
仕掛販売用不動産	13,950	15,345
その他	376	360
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	25,734	25,458
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,334	1,334
その他(純額)	271	266
有形固定資産合計	1,605	1,600
無形固定資産		
のれん	149	145
その他	22	20
無形固定資産合計	172	166
投資その他の資産		
その他	344	325
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	344	325
固定資産合計	2,122	2,092
繰延資産		
株式交付費	22	13
その他	0	0
繰延資産合計	23	13
資産合計	27,879	27,564
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	888	885
短期借入金	601	1,311
1年内返済予定の長期借入金	7,609	7,446
未払法人税等	93	100
賞与引当金	26	8
その他	322	295
流動負債合計	9,540	10,046
固定負債		
長期借入金	6,613	5,668
転貸損失引当金	5	7
退職給付に係る負債	3	3
その他	98	82
固定負債合計	6,719	5,762
負債合計	16,260	15,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,367	5,367
資本剰余金	5,030	5,030
利益剰余金	1,195	1,331
株主資本合計	11,593	11,729
新株予約権	25	25
純資産合計	11,619	11,754
負債純資産合計	27,879	27,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,529	3,710
売上原価	1,316	3,072
売上総利益	213	637
販売費及び一般管理費	335	356
営業利益又は営業損失(△)	△122	281
営業外収益		
受取利息	0	0
受取保険金	—	0
その他	1	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	80	69
支払手数料	43	34
その他	16	10
営業外費用合計	140	114
経常利益又は経常損失(△)	△262	168
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△262	168
法人税等	12	32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△274	135
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△274	135

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△274	135
四半期包括利益	△274	135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△274	135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	925	583	1,508	21	1,529	—	1,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	5	5	△5	—
計	925	583	1,508	26	1,535	△5	1,529
セグメント利益又は損 失(△)	△62	53	△9	△1	△10	△111	△122

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△111百万円は、セグメント間取引消去△1百万円と全社費用△110百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社シフトライフの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「不動産開発事業」セグメントにおいて、のれんが166百万円発生しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,574	1,111	3,685	24	3,710	—	3,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	2	2	△2	—
計	2,574	1,111	3,685	26	3,712	△2	3,710
セグメント利益又は損 失(△)	211	158	369	1	371	△89	281

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△89百万円は、セグメント間取引消去0百万円と全社費用△90百万円あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。